



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年10月15日

上場会社名 株式会社ベイカレント 上場取引所 東
コード番号 6532 URL <https://www.baycurrent.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）北風 大輔
問合せ先責任者（役職名）取締役最高財務責任者（氏名）中村 公亮 TEL 03 (5544) 9331
半期報告書提出予定日 2025年10月15日 配当支払開始予定日 2025年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	68,462	26.6	23,754	27.7	23,270	28.4	23,292	28.8	17,229	28.9	17,229	28.9
2025年2月期中間期	54,094	23.7	18,606	17.4	18,129	17.0	18,089	16.9	13,368	18.6	13,368	18.6

（注） 中間包括利益合計額 2026年2月期中間期 17,229百万円（28.9%） 2025年2月期中間期 13,368百万円（18.6%）

EBITDAの定義及び計算方法は、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報（参考情報）」をご覧ください。

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	113.44	—
2025年2月期中間期	87.80	—

（注） 当社は、2025年2月期第3四半期連結会計期間より要約四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年2月期中間連結会計期間に代えて、2025年2月期中間会計期間について記載しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	131,518	103,552	103,552	78.7
2025年2月期	124,665	94,401	94,401	75.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	25.00	—	37.00	62.00
2026年2月期	—	50.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	143,000	23.2	52,000	19.6	51,000	19.7	50,900	19.6	37,300	21.3	37,300	21.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年2月期中間期	155,411,410株	2025年2月期	155,411,410株
2026年2月期中間期	3,555,585株	2025年2月期	3,353,089株
2026年2月期中間期	151,878,382株	2025年2月期中間期	152,243,642株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、2025年10月20日に証券アナリスト・機関投資家向けに説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、東証への開示に合わせて当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書	6
(3) 要約中間連結包括利益計算書	7
(4) 要約中間連結持分変動計算書	8
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

当社グループ（当社及び連結子会社をいう。以下同じ。）は前第3四半期連結会計期間より、連結決算に移行しております。

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本の経済は、各種政策の実行や雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気の回復基調が見られる一方、急激な為替変動や物価上昇などの側面から先行き不透明な状況が続いております。このような状況下において、各企業は更なる付加価値の向上やビジネス機会創出のため、積極的に新たな取り組みを行っており、これらの企業を支援するコンサルティング業界へのニーズは引き続き高い状態が続くと予想されます。

当社グループは、現在の中期経営計画において「リーディングカンパニーの経営課題を解決する総合的なパートナー」を目指し、2025年2月期から2029年2月期において、売上収益の年率約20%を目安とした継続的な成長を実現し、2029年2月期における売上収益：2,500億円、EBITDAマージン：30～40%を達成することを目標としております。

この目標に向けて、当中間連結会計期間においては優秀な人材の採用・育成、コアクライアント戦略の推進、クライアントの経営課題を多面的に解決するサービスの強化を実施してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間において、売上収益は前年同期に比べ26.6%の増収、EBITDAは前年同期に比べ27.7%の増益、EBITDAマージンは計画の範囲内である34.7%となりました。

なお、当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

IFRSに準拠した業績

（単位：百万円）

回次	2025年2月期 中間会計期間	2026年2月期 中間連結会計期間	増減率 (%)
会計期間	自 2024年3月1日 至 2024年8月31日	自 2025年3月1日 至 2025年8月31日	
売上収益	54,094	68,462	26.6
売上原価	26,260	30,540	16.3
売上総利益	27,834	37,922	36.2
売上総利益率(%)	51.5%	55.4%	—
販売費及び一般管理費	9,707	14,662	51.0
EBITDA	18,606	23,754	27.7
EBITDAマージン(%)	34.4%	34.7%	—
営業利益	18,129	23,270	28.4
税引前中間利益	18,089	23,292	28.8
中間利益	13,368	17,229	28.9

（注） 百万円未満は四捨五入して記載しております。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

当中間連結会計期間末における資産は、131,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,853百万円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物が7,733百万円増加した一方、売上債権及びその他の債権が721百万円、棚卸資産が231百万円減少したことによります。負債は、27,966百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,298百万円減少しました。これは主に、リース負債が1,035百万円、未払法人所得税が1,034百万円減少したことによります。資本は、103,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,151百万円増加しました。これは主に、自己株式が2,451百万円、利益剰余金が11,602百万円増加したことによります。

② キャッシュ・フローの分析

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7,733百万円増加し、当中間連結会計期間末には68,285百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、18,710百万円（前年同期は16,090百万円の収入）となりました。主な増加は、税引前中間利益23,292百万円、減価償却費及び償却費1,217百万円、売上債権及びその他の債権の減少額721百万円、主な減少は、法人所得税の支払額7,234百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、786百万円（前年同期は520百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出257百万円、敷金の差入による支出417百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、10,191百万円（前年同期は8,981百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出525百万円、リース負債の返済による支出1,034百万円、自己株式の取得による支出3,006百万円、配当金の支払額5,626百万円によるものであります。

（参考情報）

当社グループは、投資家が会計基準の差異にとらわれることなく、当社グループの業績評価を行い、当社グループの企業価値についての純粋な成長を把握するうえで有用な情報を提供することを目的として、EBITDAを経営成績に関する参考指標としております。なお、当該EBITDA及び算出方法は以下のとおりであります。

EBITDA：

営業利益＋減価償却費及び償却費（使用権資産に係る減価償却費を除く。）±その他調整

（単位：百万円）

回次	2025年2月期 中間会計期間	2026年2月期 中間連結会計期間
会計期間	自 2024年3月1日 至 2024年8月31日	自 2025年3月1日 至 2025年8月31日
営業利益	18,129	23,270
調整額：		
＋減価償却費及び償却費 （使用権資産に係る減価償却費を除く。）（注）2	309	260
±その他調整（注）2、3	168	224
調整額小計	477	484
EBITDA	18,606	23,754

（注）1．百万円未満は四捨五入して記載しております。

2．使用権資産に係る減価償却費については「＋減価償却費及び償却費」から除いて「±その他調整」に含めております。

3．「±その他調整」は、IFRS固有の会計処理等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月10日の「2025年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想の見通しから変更ございません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	60,552	68,285
売上債権及びその他の債権	22,699	21,978
棚卸資産	919	688
その他の金融資産	3,000	3,000
その他の流動資産	1,429	1,885
流動資産合計	88,599	95,836
非流動資産		
有形固定資産	11,620	10,645
のれん	19,187	19,187
無形資産	58	106
その他の金融資産	2,234	2,697
その他の非流動資産	99	112
繰延税金資産	2,868	2,935
非流動資産合計	36,066	35,682
資産合計	124,665	131,518
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,050	787
リース負債	2,074	2,080
その他の金融負債	870	985
未払法人所得税	7,830	6,796
その他の流動負債	12,335	12,508
流動負債合計	24,159	23,156
非流動負債		
借入金	261	—
リース負債	4,697	3,656
引当金	1,147	1,154
非流動負債合計	6,105	4,810
負債合計	30,264	27,966
資本		
資本金	282	282
資本剰余金	8,069	8,069
自己株式	△8,574	△11,025
利益剰余金	94,624	106,226
その他の資本の構成要素	—	△0
親会社の所有者に帰属する持分合計	94,401	103,552
資本合計	94,401	103,552
負債及び資本合計	124,665	131,518

(2) 要約中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日) — 単体 —	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日) — 連結 —
売上収益	54,094	68,462
売上原価	26,260	30,540
売上総利益	27,834	37,922
販売費及び一般管理費	9,707	14,662
その他の収益	2	10
営業利益	18,129	23,270
金融収益	—	55
金融費用	40	33
税引前中間利益	18,089	23,292
法人所得税費用	4,721	6,063
中間利益	13,368	17,229
中間利益の帰属		
親会社の所有者	13,368	17,229
中間利益	13,368	17,229
1 株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益 (円)	87.80	113.44
希薄化後1株当たり中間利益 (円)	—	—

（3）要約中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日） － 単体 －	当中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日） － 連結 －
中間利益	13,368	17,229
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	—	△0
その他の包括利益合計	—	△0
中間包括利益	13,368	17,229
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,368	17,229
中間包括利益	13,368	17,229

(4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	
2024年3月1日時点の残高	282	8,190	△5,834	71,489	—	74,127
中間利益	—	—	—	13,368	—	13,368
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
中間包括利益合計	—	—	—	13,368	—	13,368
自己株式の取得	—	—	△3,600	—	—	△3,600
自己株式の処分	—	△860	860	—	—	—
配当金	—	—	—	△3,821	—	△3,821
株式報酬費用	—	359	—	—	—	359
所有者との取引額等合計	—	△501	△2,740	△3,821	—	△7,062
2024年8月31日時点の残高	282	7,689	△8,574	81,036	—	80,433

当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	
2025年3月1日時点の残高	282	8,069	△8,574	94,624	—	94,401
中間利益	—	—	—	17,229	—	17,229
その他の包括利益	—	—	—	—	△0	△0
中間包括利益合計	—	—	—	17,229	△0	17,229
自己株式の取得	—	—	△3,000	—	—	△3,000
自己株式の処分	—	△549	549	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,627	—	△5,627
株式報酬費用	—	549	—	—	—	549
所有者との取引額等合計	—	0	△2,451	△5,627	—	△8,078
2025年8月31日時点の残高	282	8,069	△11,025	106,226	△0	103,552

(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日) — 単体 —	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日) — 連結 —
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	18,089	23,292
減価償却費及び償却費	1,274	1,217
株式報酬費用	359	549
金融収益	—	△55
金融費用	40	33
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	40	721
棚卸資産の増減額 (△は増加)	116	231
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	208	△444
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	70	149
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,198	244
その他	△8	△8
小計	21,386	25,929
利息の受取額	—	42
利息の支払額	△31	△27
法人所得税の支払額	△5,265	△7,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,090	18,710
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△750	△257
敷金の差入による支出	△387	△417
敷金の回収による収入	793	0
その他	△176	△112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△520	△786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△525	△525
リース負債の返済による支出	△1,033	△1,034
自己株式の取得による支出	△3,607	△3,006
配当金の支払額	△3,816	△5,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,981	△10,191
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,589	7,733
現金及び現金同等物の期首残高	45,778	60,552
現金及び現金同等物の中間期末残高	52,367	68,285

（6）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。